

未来を話そう！はつかいち子ども議会2025 終了後の対応

子ども議員のみなさんからの提案が実現するよう、廿日市市が取り組んでいる事業をご紹介します（2025年10月末現在）。

詳細は「未来を話そう！はつかいち子ども議会2025」サイトで ▶▶▶



山陽女学園中等部 篠原 心華 議員

生理の貧困や予期せぬ生理がきたときの為に、学校のトイレにサニタリー用品を設置するサポートがあれば心強いと思う。市内中学校の女子トイレにもサニタリー用品を設置してはどうか。

学校教育課

生理用品の取扱いについて女子生徒の思いや願いを聞くために、市内全中学校の女子生徒にアンケート調査を行っている。実態を把握した上で、学校トイレに生理用品を設置するか検討する。

阿品台中学校 高橋 舞 議員

市の公共施設であるサンチエリーにおいて、実際の使われ方や視点によっては、バリアフリー対応が不十分だと感じる点がある。今後の市の対応や計画を聞かせて欲しい。

スポーツ推進課

令和8年度の廿日市市スポーツセンター屋根付き車椅子使用者専用駐車場等整備工事実施に向け、予算要求事務を進めるとともに、令和7年度の現計予算にて実施設計業務を実施している。

廿日市中学校 梶本 湊介 議員

カラスがつついて溢れ出るごみを減らすため、大きなごみステーションを建設することや、カラスが嫌う強い光を反射するものをごみステーションに配布することは可能か。

循環型社会推進課

ダスターステーションのごみ散乱防止対策として、現状の補助制度に加え、令和8年度からは、目の細かいおもり付きネットの現物支給を行う方向で調整中。

吉和中学校 大村 慧三朗 議員

中山間地域では、年々人口減少と少子高齢化が進んでいる。中山間地域への、子育て世代などの移住者を増やすための、市の取組を聞かせて欲しい。

中山間地域振興室 プロモーション戦略課

吉和地域などの中山間地域の魅力を広めて、遊びに来てもらい、将来的には住んでみたいと思ってもらえるよう働きかけを続けていく。市公式Instagramで中山間地域の魅力を市内外に伝えるため「やまびこ太鼓」にスポットをあてた投稿を11月下旬に予定している。

野坂中学校 佐藤 凜 議員

中学校の制服や体操服をより手軽に購入できる仕組みづくりとして、制服を量販店でも購入できるようにするほか、体操服の名前の刺繍をなくし、リユース販売会を開催してはどうか。

学校教育課

廿日市市PTA連合会と質問の意図等について共有するとともに、学校単位での制服のバザー開催等について協力を依頼した。

佐伯中学校 永見 遼香 議員

中山間地域に住む学生の中には、希望進路よりも通学方法を重視した高校選択を強いられる人もいる。一つ一つの高校に学生寮を設置するのは難しいため、県内外高校の共同寮を設置してはどうか。

経営政策課 中山間地域振興室

共同寮の設置に関しては、通学環境の改善や進学先の選択肢の確保などの観点から、その趣旨は理解できるが、そもそも、高校の寮は、生徒が安心して生活し、勉強や部活動にしっかり取り組めるよう、学校のエデュケーション方針や学習環境に合わせて、適切な生活のサポートを行うことが必要である。そのため、寮は、学習や生活のサポートを一体的に行えるよう、各学校が自らの教育方針や学習環境に合わせて設置・運営することが望ましいと考えている。

大野中学校 吉本 陽南 議員

登下校するときに危険や不安を感じる歩道がある。学校で行ったアンケートでも通学路など、家の近くの道を歩くことに不安を感じている人がいるため、歩道の拡張、ガードレールの設置、防犯灯の増設を行ってはどうか。

維持管理課、施設整備課 人権・市民生活課

歩道の拡張については、費用と時間を要することが課題となる。道路の端の転落防止柵は、通学路などで危険な場所は、基準未満の場所でも設置している。防犯灯についても、町内会等と調整していきたい。

宮島中学校 高野 杏 議員

近年、国際化が進んでおり、学生たちの英語力が求められている。姉妹都市になったハワイとの姉妹校提携の計画や、その他の姉妹都市の国などと共同で行っている活動、計画している活動があれば聞かせて欲しい。

国際交流・多文化共生室 学校教育課

今後、国際交流事業の企画に、マスタートーンに派遣した中高生にも参加してもらうこととしている。国際交流に関心を持つ青少年の皆さんには、こうした取組へ積極的に参加していただきたい。

四季が丘中学校 中本 隆由 議員

平良丘陵開発によってなくなった緑地は新たに植えなおすなど、減らした分増やすということが必要だと思う。緑化活動について市の考えを聞かせて欲しい。

都市計画課 ゼロカーボン推進課

地域住民や学校、ボランティア団体との連携による環境教育や緑化活動を通じて、緑地の保全及び緑化の推進を図ることで、「緑のまち」としてさらなる魅力を感じていただくとともに、本市の持つ様々な資源や魅力を活かし経済発展できる、バランスの取れたまちでありたいと考えている。

七尾中学校 坂手 珂威 議員

大規模な開発を行うのであれば、観光消費額を向上させ、さらに私たち廿日市市民にとって、有益かつ愛される開発にしてほしい。そこで、中高生でも気軽に利用することのできるサービスや市民を対象とした優待制度を導入してはどうか。

産業振興課 観光課

これまで市民や議員の皆さんからいただいた意見や要望等の実現を図るため、観光交流エリアにおいて公共施設等の整備を検討していることを説明した。引き続き、観光交流エリアにおける市民利用の促進や市の課題解決を図るための方策や手法等について、具体的な検討を進めていく。

大野東中学校 松本 莉奈 議員

他県では小さな子どもからお年寄りの方まで気軽に利用できるよう新しい交通手段が増えている。廿日市市の公共交通機関も市民にとってより利用しやすいものにしてはどうか。

交通政策課

A I デマンド交通など新たな運行システムの導入は、利便性の向上が図られる一方で、システム導入に係る費用や効果、現在運行しているバス・タクシーへの影響を考えると、現時点での導入は難しいものと考えているが、誰もが利用しやすい移動手段の手法の一つとして、研究を進めていく。